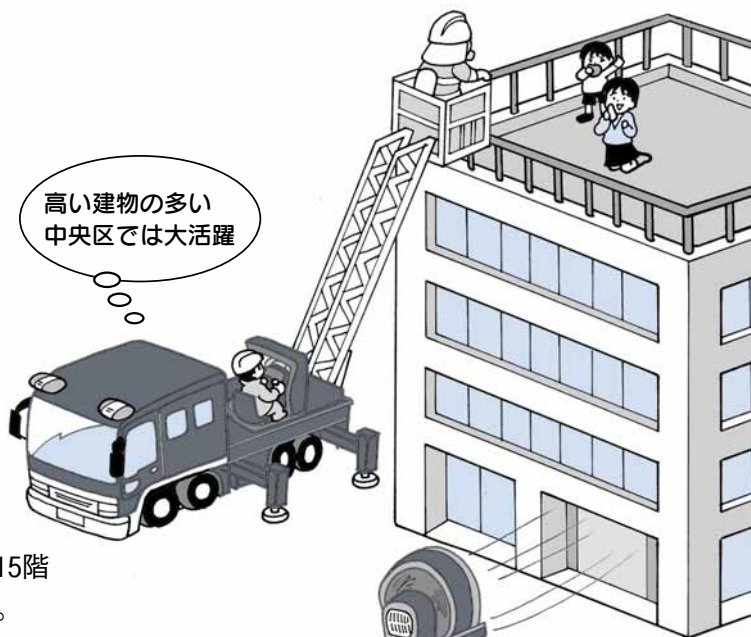


現場ではチームワーク！



市消防局中央消防署警防課
もりき なおや
森木 直也さん

火災現場ではチームで活動しており、消火のときもホースが水の勢いで大きく揺れるため、2人以上で補助します。消火、救助作業を素早く行うためにはチームワークがとても大切なんです。



はしご車

はしごは、最大で50m（ビルの約15階の高さ）まで伸ばすことができます。

みんなで防火サポーター

消防団員

消防職員とは違い、普段は別な仕事をしていますが、近くで災害があったときに駆け付けて、消防活動の手伝いなどを行っています。

また、地域で防火の呼び掛けや応急手当の方法を広めるのも重要な役目です。18歳以上の方なら入団できます。一緒に活動してみませんか。

〔申込・詳細〕 中央消防署予防課 ☎215-2120

少年消防クラブ

市内には、50の少年消防クラブがあり、小学生から中学生まで約1,000人が火の消し方を学んだり、防火パトロールなどを行っています。

クラブに入りたい人は下記まで連絡してください。

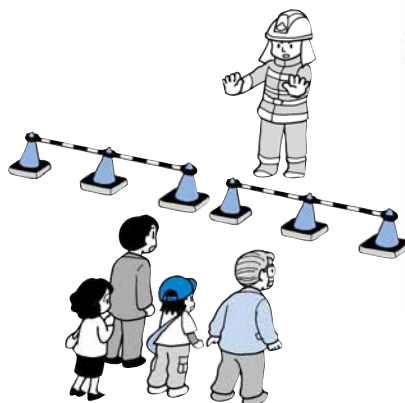
〔申込・詳細〕 札幌中央区少年消防クラブ協議会事務局（中央消防署予防課内）☎215-2120

大型ブロアー車

後部の大きなブロアー（送風機）で建物内にたまった煙を外に出します。



消防団員



指揮車

現場の情報を集め、活動している隊に命令を出します。

ちょっとした不注意が火災の原因になることがたくさんあるんだ。

火災を防ぐためにも、火遊びは絶対にしちゃダメ。火を使う時は慎重にね。



災害救助で各地へ

今年3月の東日本大震災（左記写真参照）では、延べ500人もの隊員が派遣され、救援・救助活動を行いました。

また、海外の災害で活動する「国際消防救助隊」にも隊員を登録しており、これまでインドネシア大震災などに派遣されました。



△問い合わせ先▽
指令情報センターについて
市消防局警防部指令課
☎（215）2080

消防車両について
中央消防署警防課

☎（215）2130